

オリコミタウン

Ver3.9.2 追加／改修機能のご紹介

2023/07/13



オリコミタウン Ver3.9.2 で以下の機能を追加／改修しました。

【プロット機能】

1. スパイダー表示に各プロット間の直線距離を表示／出力する機能を追加
2. プロットプロパティダイアログの「マルチメディアデータ」操作エリアに「表示」ボタンを追加
3. 自動マッチングダイアログの住所名タブを削除

【エリア機能】

4. ローカルエリアの保存ボタンをパネル上に追加

【作図機能】

5. オプションとして提供していた作図機能を開放

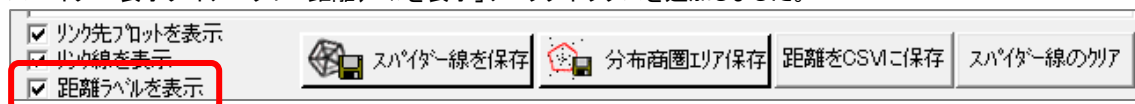
1 スパイダー表示に各プロット間の直線距離を表示／出力する機能を追加

スパイダー表示機能において、起点とリンク先間の距離を知りたい、というご要望に応じて、

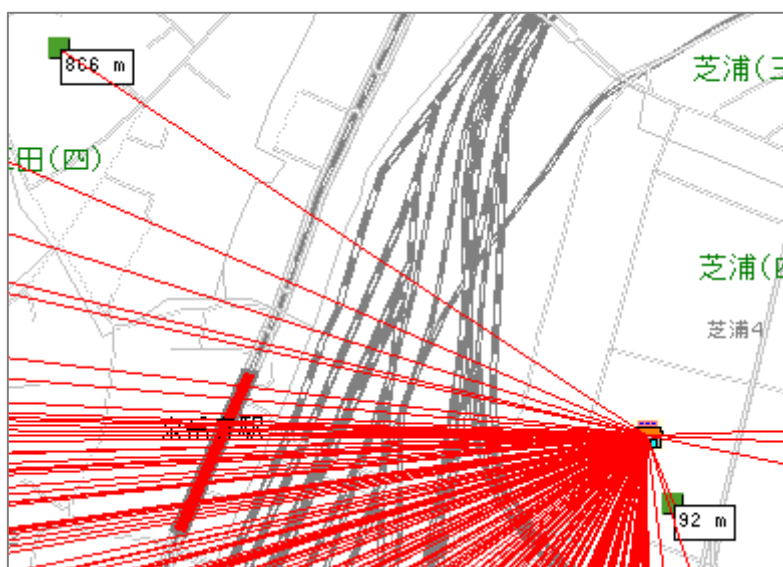
- ・画面上での距離表示 : 「距離ラベルを表示」チェックボックス
 - ・ファイルへの保存 : 「距離を CSV に保存」ボタン
- を追加しました。

① 【画面上での距離表示】

スパイダー表示ダイアログに「距離ラベルを表示」チェックボックスを追加しました。



このチェックが ON のとき(スパイダー表示直後は ON)、画面上のリンク先プロット右下に起点との直線距離が m 単位で表示されます



ラベルの表示属性は以下で固定となっており、変更はできません。位置:プロットの右下、枠線:あり、太さ1、余白:上下左右1、フォント:MS ゴシック、8ポイント。
チェックを外すと、ラベルは消えます。

② 【CSV への保存】

スパイダー表示ダイアログに「距離を CSV に保存」ボタンを追加しました。



このボタンを押下すると、保存先ファイル指定ダイアログが表示されます。
 このダイアログで保存先フォルダと、保存ファイル名を指定します。
 指定されたファイルに起点とリンク先間の直線距離が CSV で保存されます。
 保存する内容は、「起点プロット名」、「リンク先プロット名」、「2点間の直線距離」の3項目です。

起点,リンク先,直線距離(m)
 東京支店,東京学芸大学附属世田谷小学校,8238
 東京支店,港区立御田小学校,866
 東京支店,港区立港南小学校,1109

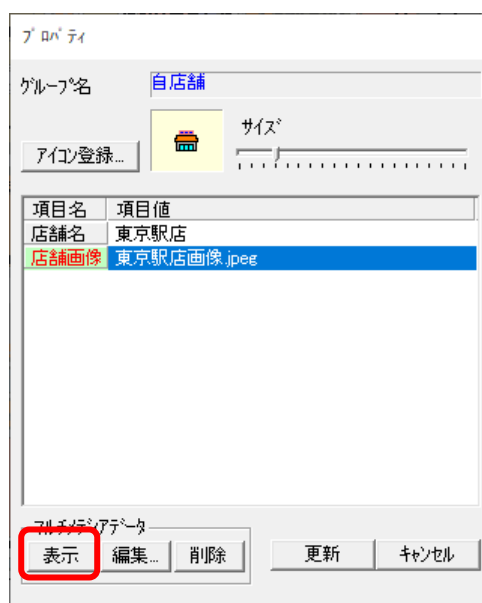
2 プロットプロパティダイアログの「マルチメディアデータ」操作エリアに「表示」ボタンを追加

プロットの属性項目を表示するには、

- ① [プロット機能][プロット属性]-地図上クリック
 - ② プロットパネル下部のプロット一覧の右メニュー[プロパティ]
- の2つがあります。

このうち、②では属性項目の編集が可能のため、プロットの属性項目として登録した画像などのマルチメディアデータを表示する、ということができませんでした。これは、編集モードになってしまうためです。

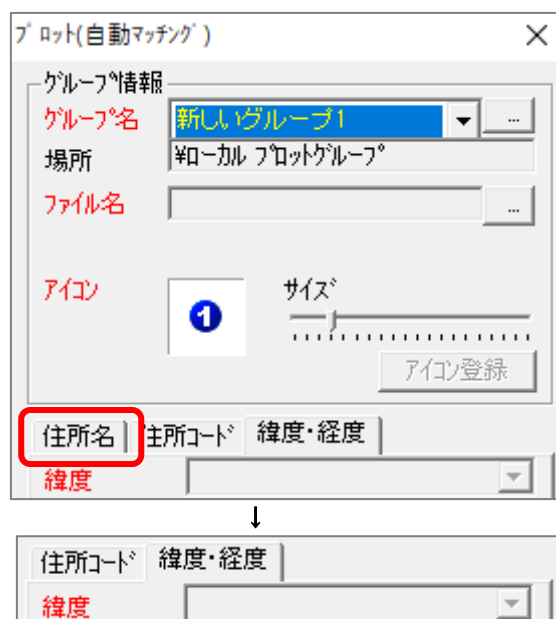
今回の改修で「表示」ボタンを追加し、マルチメディアデータを単純に「表示」することを可能としました。



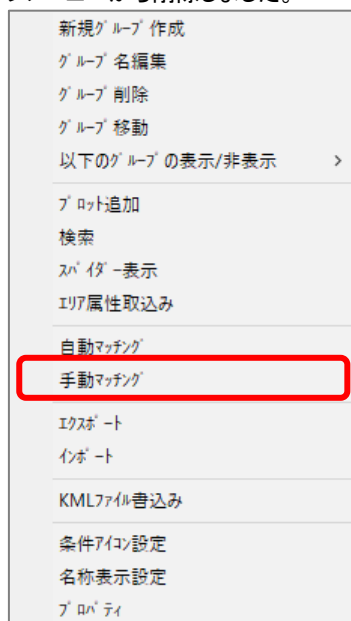
3 自動マッチングダイアログの住所名タブを削除

機能が重複しているため、プロットグループの右メニュー「自動マッチング」で表示される「プロット(自動マッチング)」ダイアログから、「住所名」のタブを削除しました。

この画面から住所名マッチングでプロットを取り込んでいた方は、今後は「住所マッチングウィザード」から行ってください。



あわせて、「手動マッチング」機能は、「住所名マッチング」でアンマッチであったものを、手動でマッチングさせるものなので、プロットグループ右クリックのポップアップメニューから削除しました。

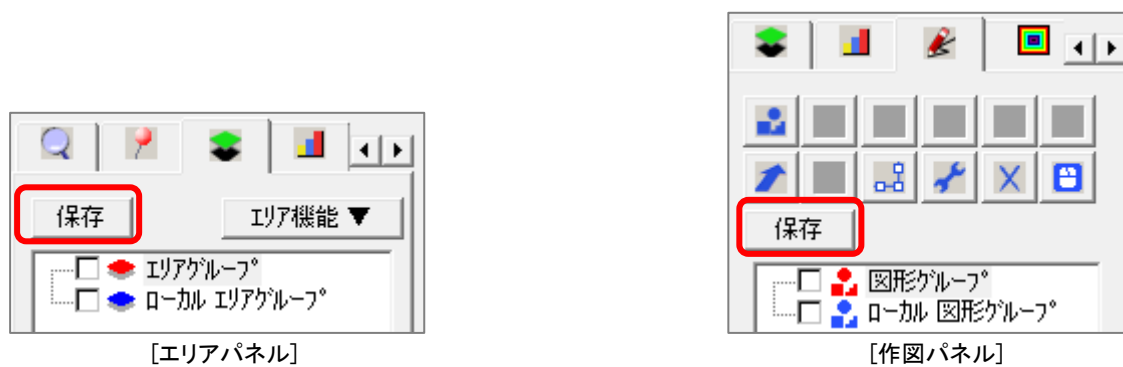


4 ローカルエリアの保存ボタンをパネル上に追加

ローカルエリアは、アプリケーション起動中はメモリ上で管理され、アプリケーション終了時にファイルに書き出される仕組みになっています。

このため、アプリケーションが途中でクラッシュした場合、編集していた内容が保存されない、という問題がありました。今回の改修で、エリアパネル上に「保存」ボタンを設け、任意のタイミングでファイルへの保存を行うことができるようにしました。

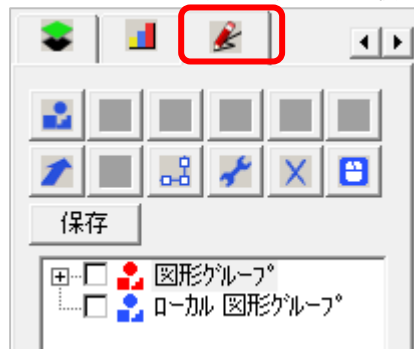
(「作図パネル」についても同様に「保存」ボタンを追加しました。)



なお、「プロット」については、追加・更新の都度、ローカルファイルに書き込みを行う仕組みとなっています。

5 作図機能の提供

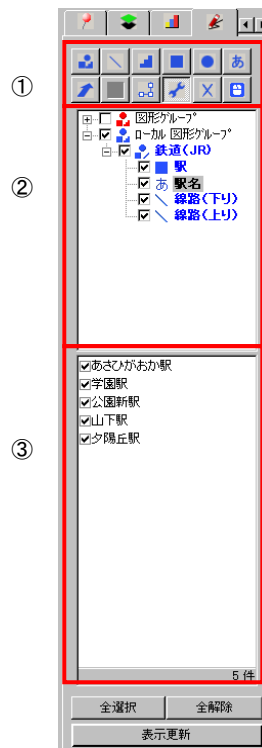
いままでオプション扱いであった作図機能(作図パネル)を開放しました。



作図は地図上に図形を描く機能です。新たに施設された道路や鉄道を描くなど、様々な用途があります。オリコミタウン内では作図は図形グループという、特定のグループに属するように作成します。

以下、作図パネルの操作について説明します。

5.1 作図パネル



作図パネルは大きく3箇所に分かれ、それぞれの操作を行うことができます。

- ① 機能ボタン
- ② 図形グループ欄
- ③ 図形オブジェクト欄

5.1.1 機能ボタンを操作する

図形作成用の機能ボタンは上段に、編集用の機能ボタンは下段に表示されます。

1. 2. 3. 4. 5. 6.



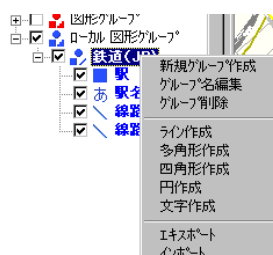
7. 8. 9. 10. 11.

- 1. グループ作成
- 2. ライン作成
- 3. 多角形作成
- 4. 四角形作成
- 5. 円作成
- 6. 文字作成
- 7. 図形移動
- 8. 図形頂点編集
- 9. 図形編集
- 10. 図形削除
- 11. 図形マウス選択

5.1.2 図形グループ欄を操作する



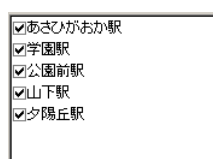
- ① 登録されている図形グループが階層に従って表示されます。図形グループ名称横のチェックボックスでは図形グループの表示状態を操作することができます。
- ② 図形グループ名が反転表示されているところはその図形グループが選択されていることを表しています。各操作は選択している図形グループに対して行われます。
- ③ 図形グループ欄の上で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。



以下の機能があります。

1. 新規グループ作成
2. グループ名編集（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
3. グループ削除（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
4. ライン作成（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
5. 多角形作成（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
6. 四角形作成（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
7. 円作成（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
8. 文字作成（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
9. エクスポート（最上位グループを選択した場合は表示されません。）
10. インポート（最上位グループを選択した場合は表示されません。）

5.1.3 図形オブジェクト欄を操作する



- ① 図形グループ欄で選択している図形グループに属する図形オブジェクトが表示されています。チェックを付け外しすることで表示設定を行います。
- ② 各操作は図形オブジェクト欄で選択している図形オブジェクト及びその図形オブジェクトが属する図形グループに対して行われます。
- ③ 図形オブジェクト欄では Ctrl キーや Shift キーを使用することで一度に複数の図形オブジェクトを選択することができます。
- ④ 図形オブジェクト欄の上で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。



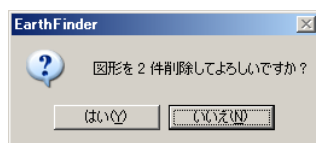
1. 名称変更

図形オブジェクト欄で1つの図形オブジェクトを選択している場合のみ選択できます。「データ名称の入力」画面が表示されますので入力して[更新]ボタンをクリックしてください。



2. 削除

図形オブジェクト欄で選択している図形オブジェクトに対する削除確認画面が表示されます。削除件数を確認して[はい]ボタンをクリックしてください。




3. 位置移動（単一選択の場合のみ表示されます。）

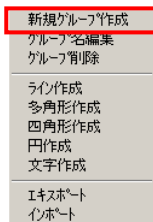
選択している図形オブジェクトを中心に地図が移動します。

5.2 図形グループを操作する

以下では図形グループの操作について説明します。

5.2.1 図形グループを作成する

1.  ボタンをクリックするか図形グループ欄ポップアップメニューから「グループ作成」画面を表示します。

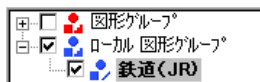


図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 図形グループ名を入力して[登録]ボタンをクリックします。



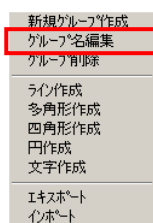
3. 図形グループ欄で選択しているグループの直下に新規作成されます。



5.2.2 図形グループ名称を変更する

既に作成された図形グループの名称を変更することができます。

1. 図形グループ欄でグループを指定してから「グループ名編集」を選択します。



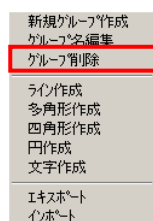
図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 指定したグループの「名称変更」画面が表示されます。図形グループ名を設定して[OK]ボタンをクリックしてください。



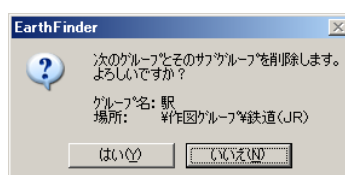
5.2.3 図形グループを削除する

1. 図形グループ欄でグループを指定してから「グループ削除」を選択します。



図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 指定したグループの削除確認画面が表示されます。削除内容を確認して[はい]ボタンをクリックしてください。



- ⚠ 図形グループを削除すると、その図形グループ以下の図形オブジェクトが全て削除されます。消去してよいデータが十分確認してください。
- i 任意の1オブジェクトを削除する場合には、当機能ではなく、機能ボタンか図形オブジェクト欄ポップアップメニューから行ってください。
- i 属する図形オブジェクトが多い場合、削除に時間がかかります。


5.3 図形を作成する

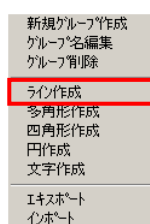
図形作成はその形状や作成する際に使用するデータによって以下の種類に分けられます。

1. ライン作成
2. 多角形作成
3. 四角形作成
4. 円作成
5. 文字作成

5.3.1 ライン作成を行う

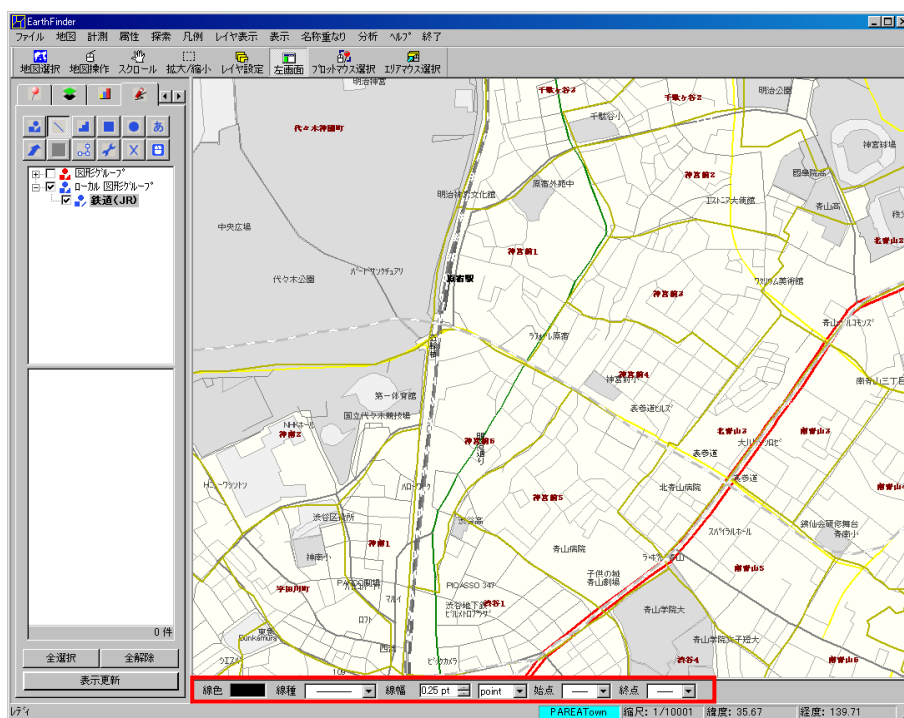
以下では、地図上にラインを描画する方法について説明します。

1.  ボタンをクリックするか図形グループ欄ポップアップメニューから「ライン作成」を選択します。



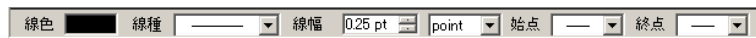
図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 地図上の下部にライン属性設定欄が表示されます。



5.3.1.1 ライン属性を設定する

線色・線種・線幅・始終点のスタイルを設定します。



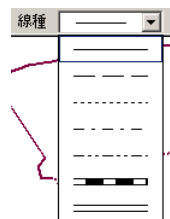
5.3.1.1.1 ラインの線色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



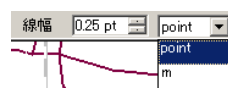
5.3.1.1.2 ラインの線種を設定する

プルダウンで線種を選択してください。



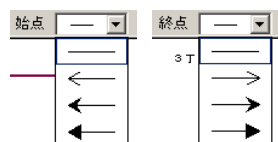
5.3.1.1.3 ラインの線幅を設定する

線幅のスピンドットを上下すると 0.25 ずつ変化します。また線幅の単位はプルダウンで選択できます。



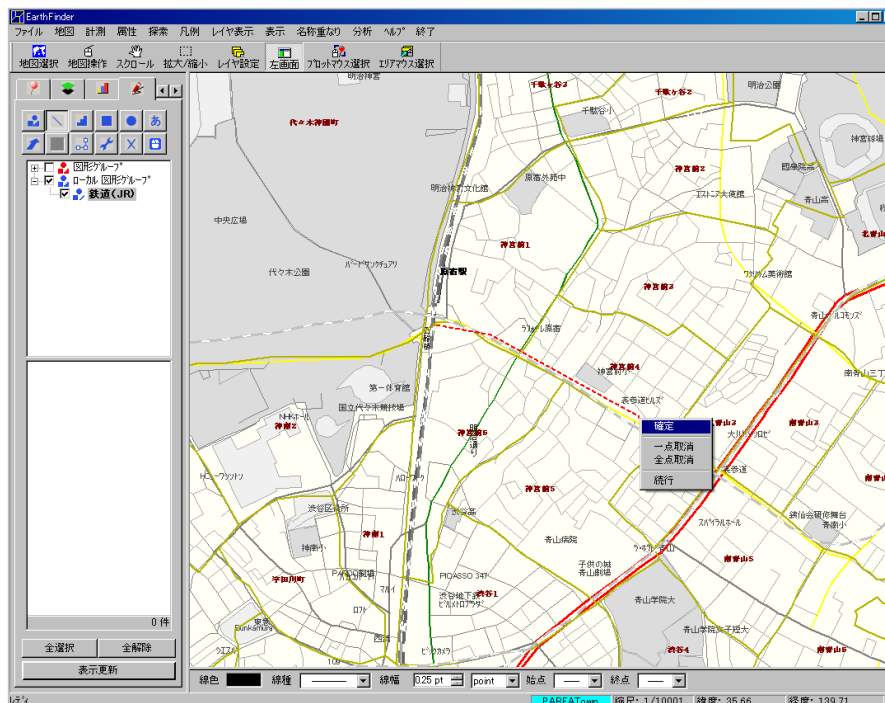
5.3.1.1.4 始終点のスタイルを設定する

始点と終点のスタイルをプルダウンで設定します。




5.3.1.2 図形を確定する


1. 地図上の任意の場所に点を打つとラインが描画されます。




- 1) ラインの開始地点をクリックします。
- 2) そのままマウスを移動させると、上記クリックした地点から現在のマウスカーソル地点までを結ぶ直線が描画されます。
- 3) 上記 1 と 2 の操作を続けて行うことにより、連続したラインを描画することができます。


 直前の計測区間を取りやめる場合は、右クリックを押して「一点取消」を選択してください。「全点取消」を選択すると描画を中止します。

- 4) ラインを確定する場合は確定したい地点でダブルクリックします。

 右クリックを押して「確定」でも同じです。

 [計測]—[距離計測]と同様の方法です。

2. 図形を確定すると図形グループ欄で指定されたグループ直下に追加されます。

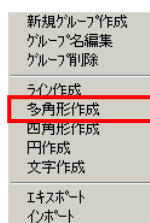
 図形グループ欄で図形グループもしくはライン以外の図形グループを選択している場合は新規にライングループを作成し、その配下に登録されます。

 図形グループ欄でライングループを選択している場合はその配下に登録されます。

5.3.2 多角形作成を行う

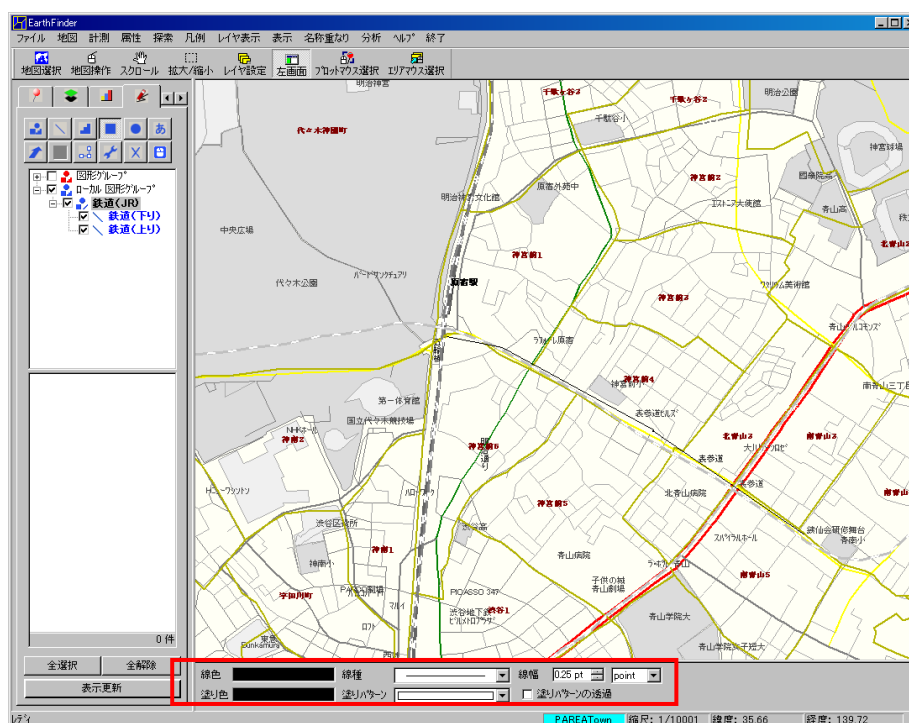
以下では、地図上に多角形を描画する方法について説明します。

1.  ボタンをクリックするか図形グループ欄ポップアップメニューから「多角形作成」を選択します。



図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 地図上の下部に多角形属性設定欄が表示されます。



5.3.2.1 多角形属性を設定する

以下では多角形属性の設定について説明します。



5.3.2.1.1 多角形の線色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。





5.3.2.1.2 多角形の線種を設定する

プルダウンで線種を選択してください。



5.3.2.1.3 多角形の線幅を設定する

線幅のスピンドットを上下すると0.25 ずつ変化します。また線幅の単位はプルダウンで選択できます。



5.3.2.1.4 多角形の塗りを設定する

以下では多角形を塗りつぶす方法について説明します。



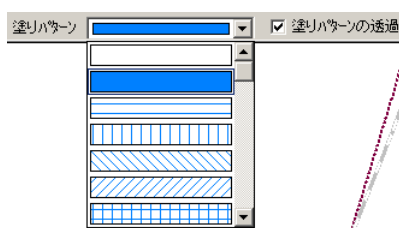
5.3.2.1.4.1 多角形の塗り色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



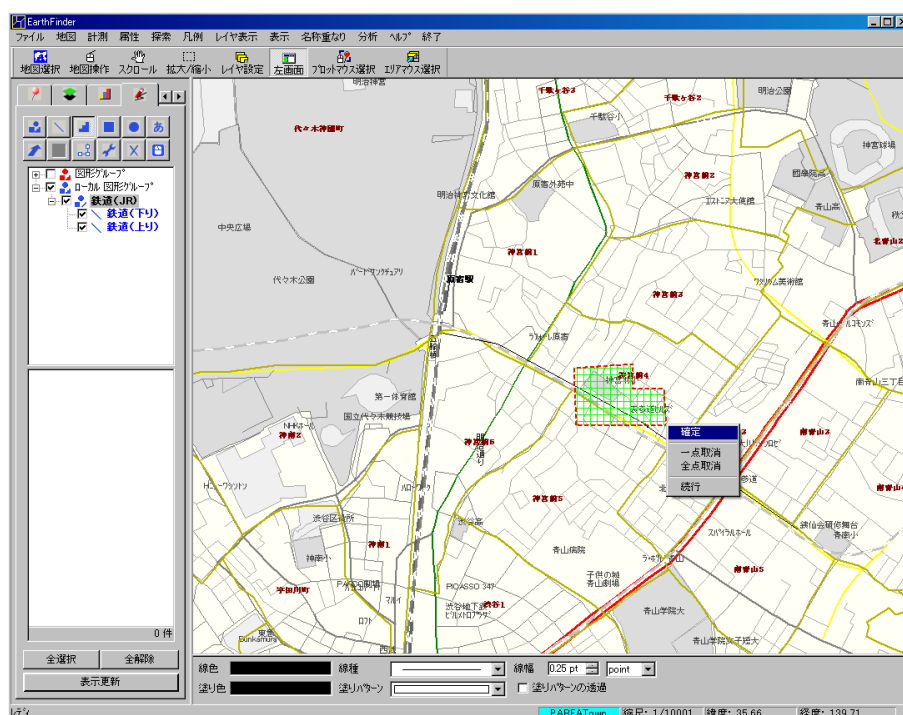
5.3.2.1.4.2 多角形の塗りパターンを設定する

塗りパターンをプルダウンから選択します。「塗りパターンの透過」にチェックを付けると透過されます。




5.3.2.2 図形を確定する


1. 地図上の任意の場所に一点ずつマウスで点を打ち、多角形を描画します。




- 1) 多角形の開始地点をクリックします。
- 2) そのままマウスを移動させると、上記クリックした地点から現在のマウスカーソル地点までを結ぶ直線が描画されます。
- 3) 上記 1 と 2 の操作を続けて行うことにより、直線の連続した多角形を描画することができます。

 直前の直線を取りやめる場合は、右クリックを押して「一点取消」を選択してください。「全点取消」を選択すると描画を中止します。

- 4) 多角形を確定する場合は確定したい地点でダブルクリックします。

 右クリックを押して「確定」でも同じです。

 [エリア]－[多角形エリア]と同様の方法です。

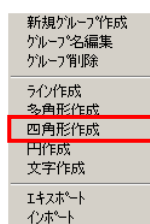
- 図形を確定すると図形グループ欄で指定されたグループ直下に追加されます。

- 図形グループ欄で図形グループもしくは多角形以外の図形グループを選択している場合は新規に多角形グループを作成し、その配下に登録されます。
- 図形グループ欄で多角形グループを選択している場合はその配下に登録されます。

5.3.3 四角形作成を行う

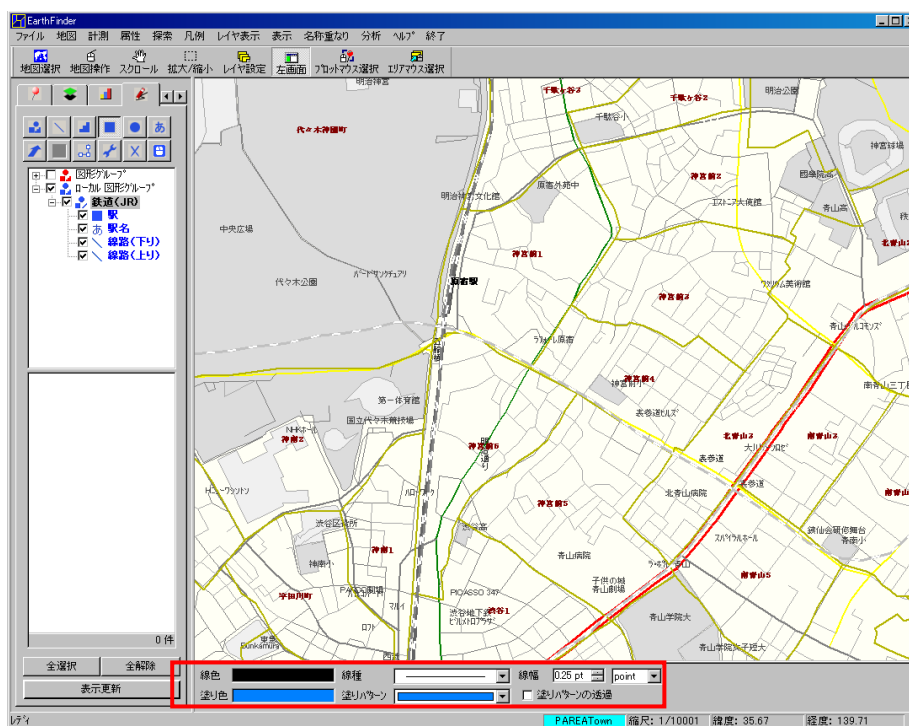
以下では、地図上に多角形を描画する方法について説明します。

- ボタンをクリックするか図形グループ欄ポップアップメニューから「四角形作成」を選択します。



図形グループ欄ポップアップメニュー

- 地図上の下部に四角形属性設定欄が表示されます。



5.3.3.1 四角形属性を設定する

以下では四角形属性の設定について説明します。



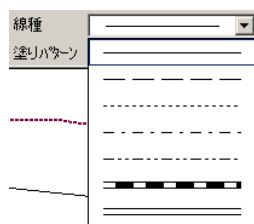
5.3.3.1.1 四角形の線色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



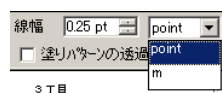
5.3.3.1.2 四角形の線種を設定する

プルダウンで線種を選択してください。



5.3.3.1.3 四角形の線幅を設定する

線幅のスピンボタンを上下すると0.25 ずつ変化します。また線幅の単位はプルダウンで選択できます。



5.3.3.1.4 四角形の塗りを設定する

以下では多角形を塗りつぶす方法について説明します。



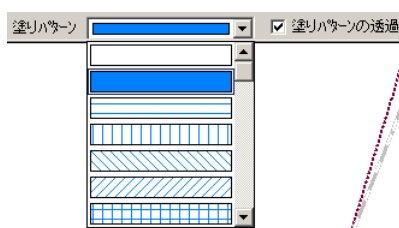
5.3.3.1.4.1 四角形の塗り色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



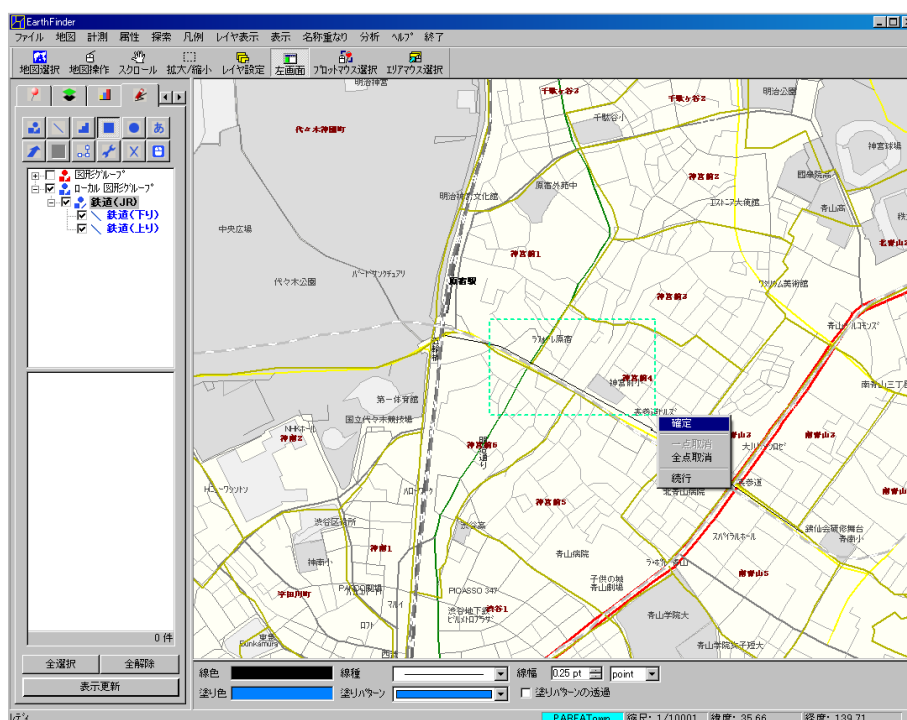
5.3.3.1.4.2 四角形の塗りパターンを設定する

塗りパターンをプルダウンから選択します。「塗りパターンの透過」にチェックを付けると透過されます。




5.3.3.2 図形を確定する


1. 地図上の任意の場所にマウスドラッグで四角形を描画します。




- 1) マウスで範囲指定すると四角形が描画されます。


 中止する場合は、右クリックを押して「全点取消」を選択してください。


- 2) 四角形を確定する場合は確定したい地点でダブルクリックします。

 右クリックを押して「確定」でも同じです。

 [拡大/縮小]と同様の方法です。

2. 図形を確定すると図形グループ欄で指定されたグループ直下に追加されます。

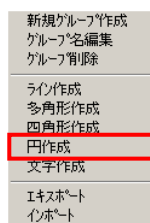
 図形グループ欄で図形グループもしくは四角形以外の図形グループを選択している場合は新規に四角形グループを作成し、その配下に登録されます。

 図形グループ欄で四角形グループを選択している場合はその配下に登録されます。

5.3.4 円作成を行う

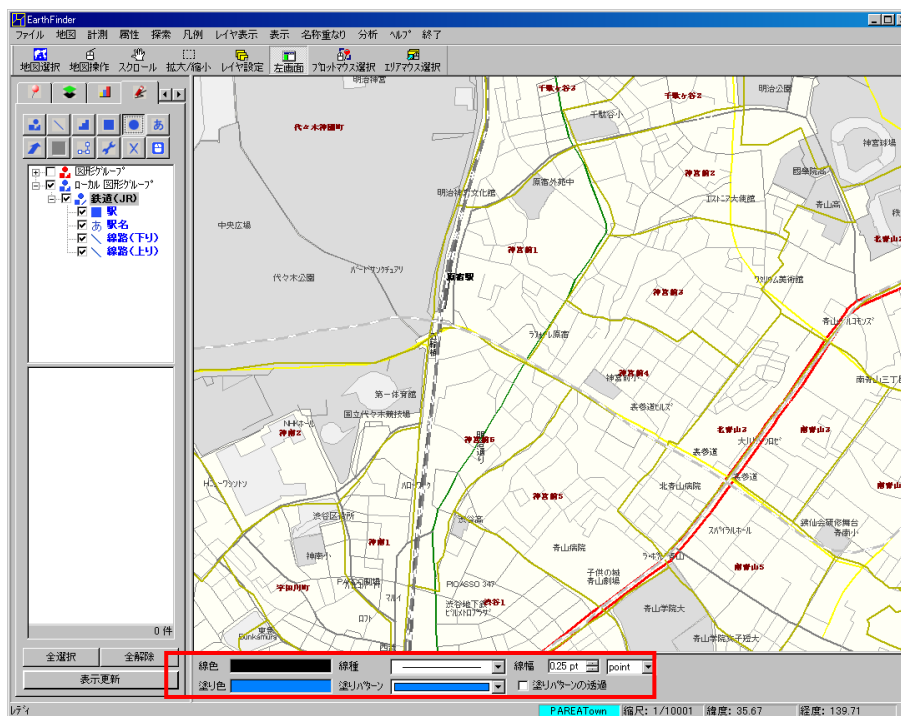
以下では、地図上に円を描画する方法について説明します。

1.  ボタンをクリックするか図形グループ欄ポップアップメニューから「円作成」を選択します。



図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 地図上の下部に円属性設定欄が表示されます。



5.3.4.1 円属性を設定する

以下では円属性の設定について説明します。



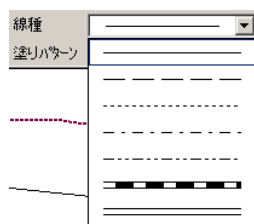
5.3.4.1.1 円の線色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



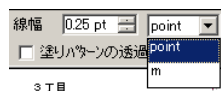
5.3.4.1.2 円の線種を設定する

プルダウンで線種を選択してください。



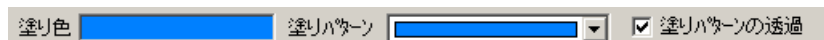
5.3.4.1.3 円の線幅を設定する

線幅のスピンボタンを上下すると0.25 ずつ変化します。また線幅の単位はプルダウンで選択できます。



5.3.4.1.4 円の塗りを設定する

以下では多角形を塗りつぶす方法について説明します。



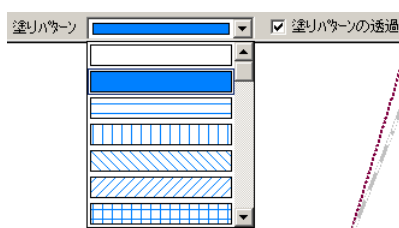
5.3.4.1.4.1 円の塗り色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



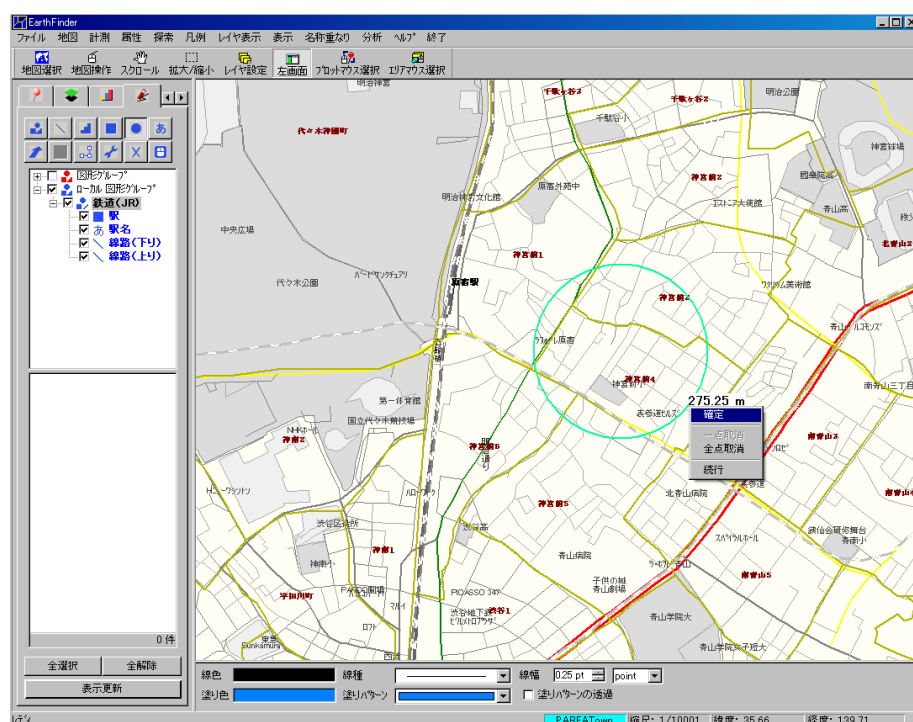
5.3.4.1.4.2 円の塗りパターンを設定する

塗りパターンをプルダウンから選択します。「塗りパターンの透過」にチェックを付けると透過されます。



5.3.4.2 図形を確定する

1. 地図上の任意の場所にマウスドラッグで円を描画します。



- 1) 円の中心地点をクリックします。
- 2) そのままマウスを移動させると、上記クリックした地点を中心に円が描画されます。

中止する場合は、右クリックを押して「全点取消」を選択してください。

- 3) 円を確定する場合は確定したい地点でダブルクリックします。


右クリックを押して「確定」でも同じです。

[エリア]-[円エリア作成]と同様の方法です。

2. 図形を確定すると図形グループ欄で指定されたグループ直下に追加されます。

図形グループ欄で図形グループもしくは円以外の図形グループを選択している場合は新規に円グループを作成

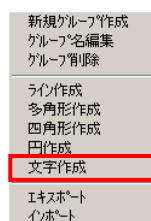
し、その配下に登録されます。

 図形グループ欄で円グループを選択している場合はその配下に登録されます。

5.3.5 文字作成を行う

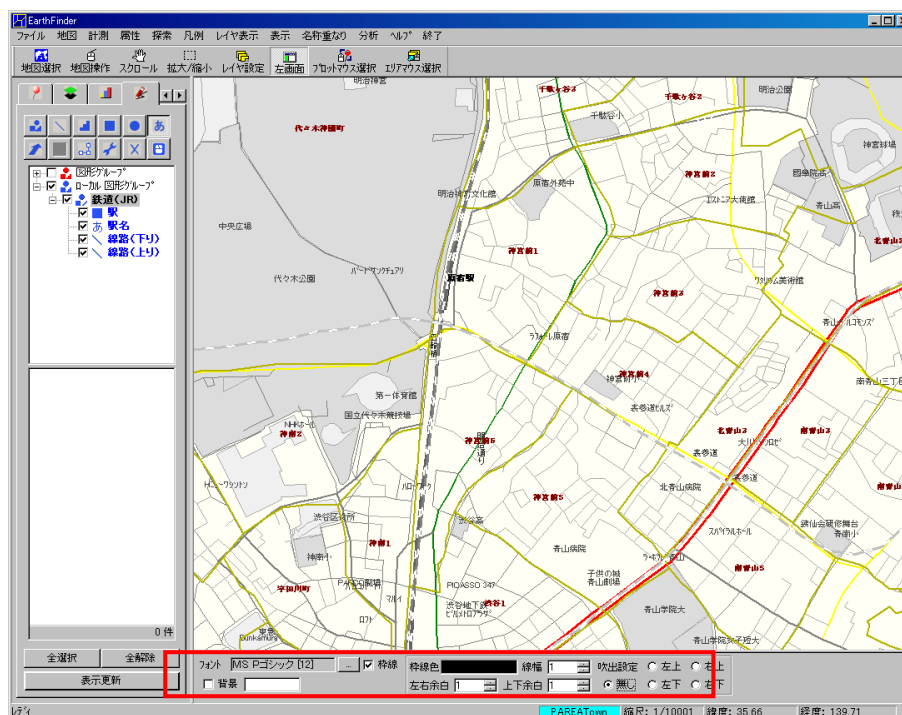
以下では、地図上に文字を作成する方法について説明します。

1.  ボタンをクリックするか図形グループ欄ポップアップメニューから「文字作成」を選択します。



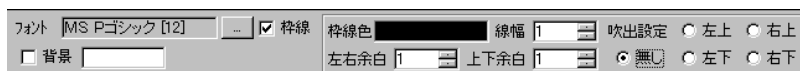
図形グループ欄ポップアップメニュー

2. 地図上の下部に文字属性設定欄が表示されます。



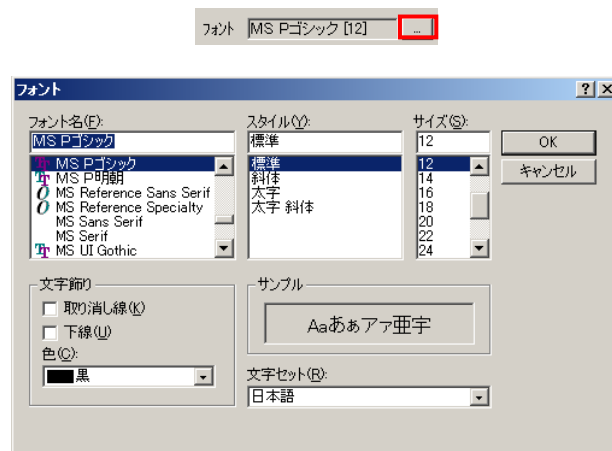
5.3.5.1 文字属性を設定する

以下では文字属性の設定について説明します。



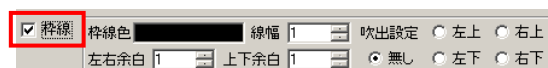
5.3.5.1.1 文字フォントを設定する

... ボタンをクリックすると「フォント」画面が表示されます。



5.3.5.1.2 文字の枠線を設定する

「枠線」にチェックを付けると枠線設定欄が有効になります。



5.3.5.1.2.1 文字枠線の色を設定する

線色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



5.3.5.1.2.2 文字枠線の線幅を設定する

線幅のスピンドットを上下すると0.25 ずつ変化します。



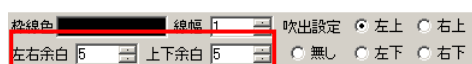
5.3.5.1.2.3 文字枠線を吹出しに設定する

吹出設定を「無し」以外にすると文字枠線に吹出しが付きます。



5.3.5.1.2.4 文字枠線の余白を設定する

余白のスピンドットを上下すると1ずつ変化します。



5.3.5.1.3 文字の背景を設定する

1. 「背景」にチェックを付けると文字に背景が付きます。

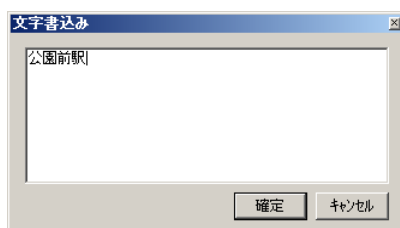


2. 背景色欄をクリックすると「色の設定」画面が表示されます。



5.3.5.2 図形を確定する

1. 地図上の任意の場所をクリックすると「文字書込み」画面が表示されます。



2. 文字を入力して[確定]ボタンをクリックすると地図上に反映されます。


- ① 図形グループ欄で図形グループもしくは文字以外の図形グループを選択している場合は新規に文字グループを作成し、その配下に登録されます。
- ② 図形グループ欄で文字グループを選択している場合はその配下に登録されます。

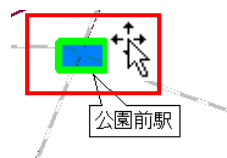
5.4 作成した図形を編集する

作成した図形に対して以下の編集を行うことができます。

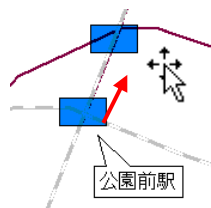
1. 図形移動
2. 図形頂点編集
3. 図形属性編集
4. 図形削除
5. 図形マウス選択

5.4.1 図形移動を行う


1.  ボタンをクリックしてから地図上の図形オブジェクトにカーソルを当てるとカーソル形状が変わり、図形オブジェクトがハイライト表示されます。

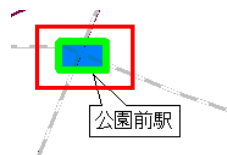


ドラッグ & ドロップで図形移動を行います。

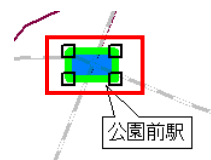


5.4.2 図形頂点編集を行う


1.  ボタンをクリックしてから地図上の図形オブジェクトにカーソルを当てると図形オブジェクトがハイライト表示されます。

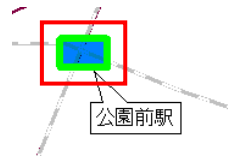


2. 図形オブジェクトをクリックすると頂点が編集できるようになります。




5.4.3 図形属性編集を行う

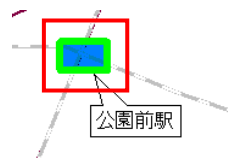
1.  ボタンをクリックしてから地図上の図形オブジェクトにカーソルを当てると図形オブジェクトがハイライト表示されます。



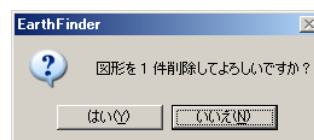
2. 図形オブジェクトをクリックすると地図上の下部に選択した図形オブジェクトに合った属性設定欄が表示されます。

5.4.4 図形削除を行う


1.  ボタンをクリックしてから地図上の図形オブジェクトにカーソルを当てると図形オブジェクトがハイライト表示されます。

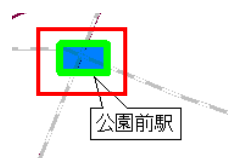


2. 図形オブジェクトをクリックすると削除確認画面が表示されます。削除するには[[はい]]ボタンをクリックしてください。

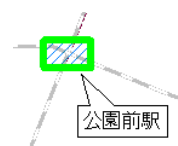


5.4.5 図形マウス選択を行う

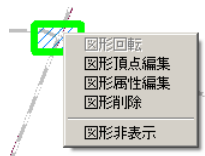
1.  ボタンをクリックしてから地図上の図形オブジェクトにカーソルを当てると図形オブジェクトがハイライト表示されます。



2. 図形オブジェクトをクリックするとその図形オブジェクトが選択されます。



- 図形オブジェクトの上で右クリックするとポップアップメニューが表示され、各機能を行うことができます。



5.5 図形オブジェクトを表示する

図形オブジェクトの表示には図形グループ単位での設定と図形オブジェクト個別の設定があります。


5.5.1 図形グループを表示する

以下では図形グループ単位での表示設定について説明します。ここで行う設定はその図形グループ以下全ての図形オブジェクトに対して設定されます。

5.5.1.1 図形グループを個別に表示設定する

- 図形グループ欄で表示したいグループにチェックを付けます。



 エリアグループ欄のチェックボックスの表示状態はそれぞれ以下のことを表しています。

No.	チェックボックスの状態	当該グループの表示状態	サブグループの表示状態
1	<input type="checkbox"/>	非表示	非表示
2	<input type="checkbox"/>		一部が表示
3	<input type="checkbox"/>	表示	
4	<input checked="" type="checkbox"/>		

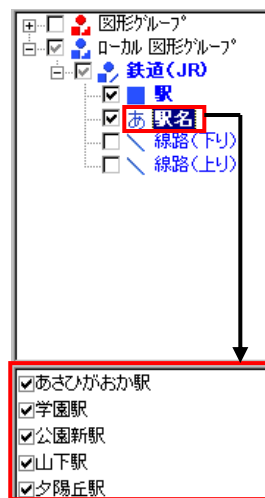
2. 作図パネル下部の[表示更新]ボタンをクリックすると地図上に表示設定が反映されます。



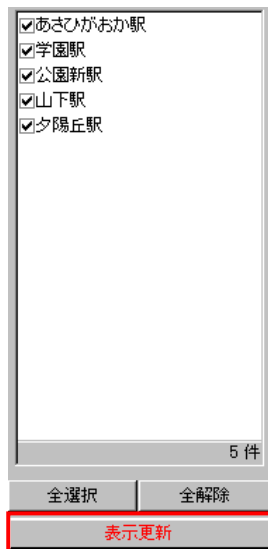
5.5.2 図形オブジェクトを表示する

以下では図形オブジェクト個別の表示設定について説明します。

1. 図形グループ欄でグループを指定すると属する図形オブジェクトが図形オブジェクト欄に表示されます。



2. 図形オブジェクト欄のチェックを付け外して[表示更新]ボタンをクリックすると地図上に反映されます。



 [全選択]ボタン・[全解除]ボタンで図形オブジェクト欄の全図形オブジェクトを一度に選択・解除できます。

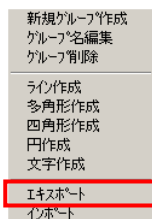
5.5.3 図形データのインポート/エクスポート

以下では図形データのインポート/エクスポートについて説明します。

5.5.3.1 図形データをエクスポートする

以下では、図形データのエクスポートについて説明します。

1. 「図形データ書き出し」画面を表示します。




図形グループ欄ポップアップメニュー



2. エクスポートを行うグループを選択します。

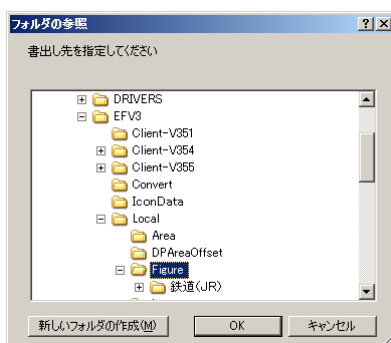


3. エクスポートファイルの書き出し先を指定します。

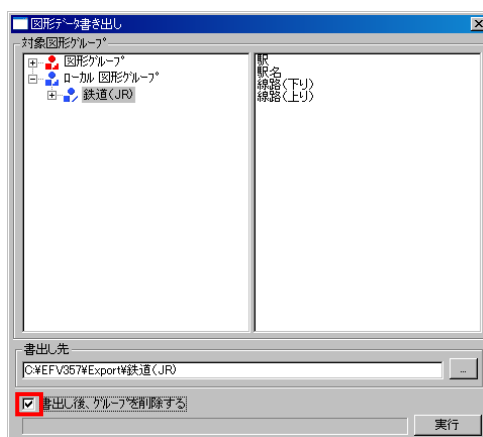


 書き出し先は直接入力可能です。

  をクリックすると書き出し先を選択することができます。

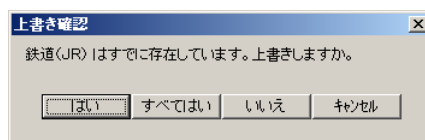


4. エクスポート後、グループを削除する場合は「書き出し後、グループを削除する」にチェックを付けます。



5. [実行]ボタンをクリックするとエクスポートを開始します。

- エクスポート先に同名のファイルが存在している場合は上書確認が表示されます。

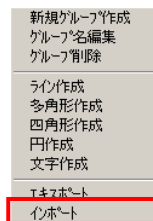


- [はい]ボタンをクリックすると確認したファイルについてのみ上書します。
- [すべてはい]ボタンをクリックすると以降、既に存在しているものが発生しても確認せずに上書します。
- [いいえ]ボタンをクリックすると確認したファイルについてのみ上書しません。
- [キャンセル]ボタンをクリックするとエクスポートを中断します。この時点までの処理は実行されています。

5.5.3.2 図形データをインポートする

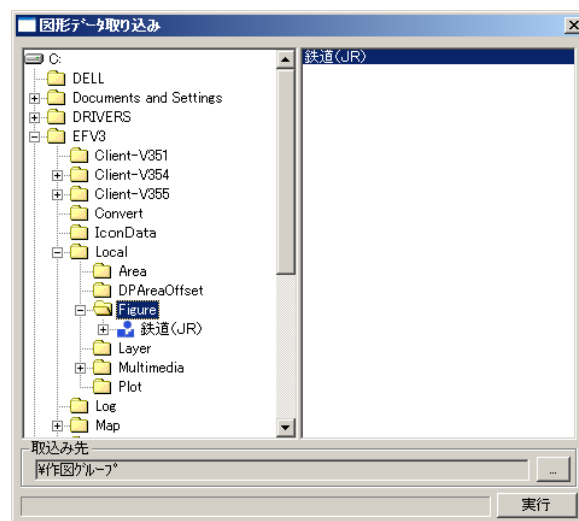
以下では、図形データのインポートについて説明します。

1. 「図形データ取込み」画面を表示します。

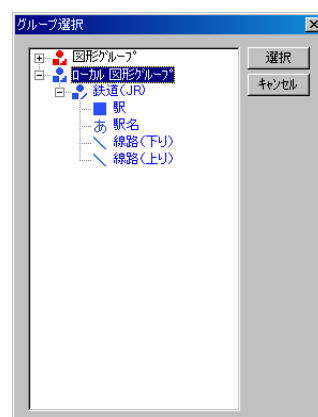


図形グループ欄ポップアップメニュー

2. インポートファイルの読み込み元を指定します。

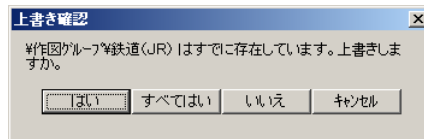


3. インポート先を選択します。... をクリックするとグループ選択画面が表示されます。



4. [実行]ボタンをクリックするとインポートを開始します。

- インポート先に同名のグループが存在している場合は上書確認画面が表示されます。



- 1) [はい]ボタンをクリックすると確認したグループについてのみ上書します。
- 2) [すべてはい]ボタンをクリックすると以降、既に存在しているものが発生しても確認せずに上書します。
- 3) [いいえ]ボタンをクリックすると確認したグループについてのみ上書しません。
- 4) [キャンセル]ボタンをクリックするとインポートを中断します。この時点までの処理は実行されています。

以上